

「乃木をかえたら乃木は生きておらぬぞ」

2010/04/15 08:00

静子夫人が旅順陥落を祈願、二人の子供を失って

毅然と「よく死んでくれました。これで世間の母人方に申訳が立ちます…」

ワック出版から「歴史通」5月号が発売されました。江戸は世界一の文化都市だった、龍馬を殺ったのは誰だ、松蔭の狙いは「密航」ではなく「ペリー暗殺」、男装の麗人「川島芳子」は生きていた、やはり乃木大将は偉かった、カラー特集「蒙古襲来」等々、歴史好きには魅力たっぷりの内容となっています。特に「蒙古襲来」は現在[靖国神社・遊就館](#)で同じイベントを開催中で、そのカラー写真は見事で必見だと思います。

本号には「乃木希典」について、渡部昇一氏、岡田幹彦氏(日本政策研究センター主任研究員)、田母神俊雄氏の三人が寄稿していますが、このエントリーでは岡田幹彦氏の「やがて悲しき乃木愚将論」から、旅順攻囲戦の一部を抜粋して紹介します。

「坂の上の雲が出てから三十数年、世を覆った乃木愚将論は急速に終焉しつつある」の書き出しではじまるこの論文は、13ページにわたって旅順戦を中心に詳しく伝えています。一向に攻略が進まない乃木希典大将率いる第三軍に対する国内世論が厳しいときに、乃木を断固支持した明治天皇の判断、二人の子どもを失った際に夫妻が共に「良く死んでくれた」と述べた、というくぐり泣かせます。

「私が死ぬまで絶対に死んではならぬ」と明治天皇は乃木大将に厳命したとされていますが、その約束を守って明治天皇が崩御されると、ご大葬の日に乃木夫妻は自刃したのです。乃木夫妻の哀切きわまりなき殉死に対して全ての国民が慟哭し哀悼し、以後追慕の情けは面々として尽きることなく、大正十二年旧乃木邸の隣地に乃木神社が建立され神として祀られたのである、と結んでいます。



歴史通はワック出版から定価860円で好評発売中です
(画像クリックでHPにジャンプします)

仕掛けがわからない

(前略)戦争に誤算はつきもので、互いに誤算し合うが誤算の少ない方が勝つ。日本はこれほどの大誤算をしたのだから本来負けるはずだった。

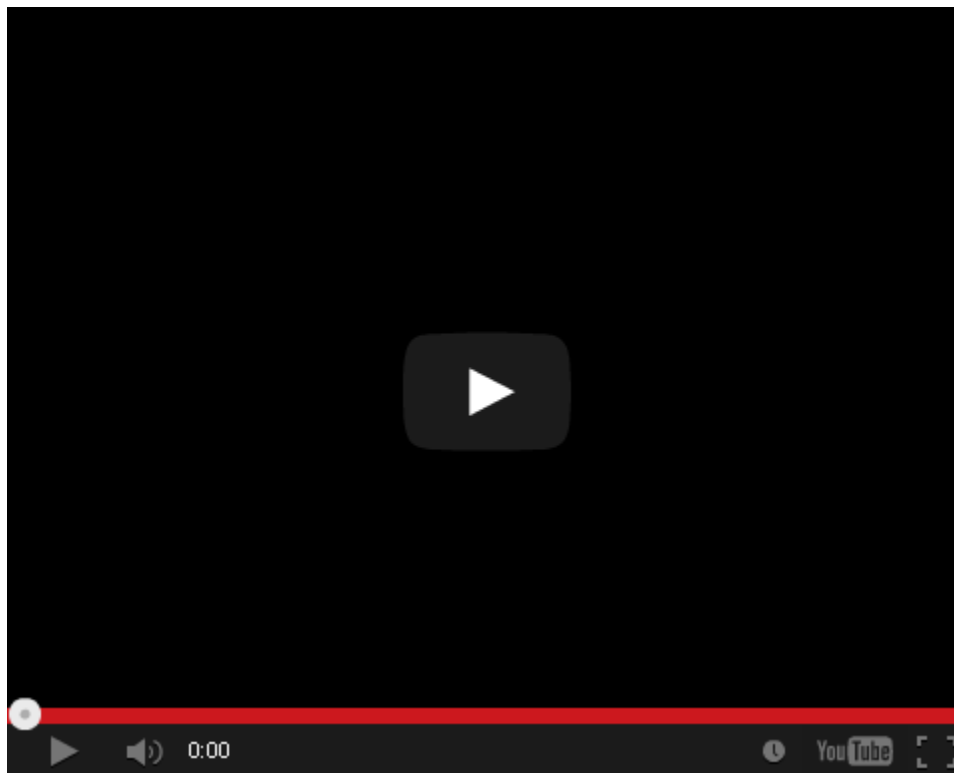
第一回総攻撃は明治三十七年八月下旬に行われた。ほとんどの国民は旅順の迅速なる陥落を夢見て早ければ二、三日、遅くても一週間位と予想し、東京市内では提灯行列と祝賀会の準備がなされていた。国民のみならず大本営も満洲軍総司令部も一気呵成の攻略を疑う者はなかった。

旅順要塞は旅順港及び市街を取囲む百数十メートル級のはげ山に二重三重に築かれ、そこに数多くの堡壘(ほうらい)砲台がびっしりと並んでいた。山頂の最も強固な堡壘は一辺が百メートル前後の方形で作られ、コンクリートの防壁の厚さは二メートルもあり、それは第三軍の最も強力な十五センチ攻城砲の砲弾をはじき返す魔物であった。

堡壘の周囲は十メートル前後の壕が掘られ、壕内の側壁には機関銃が据えられており、敵兵が壕内にとびこんで来た時薙ぎ倒す仕掛けとなっていた。堡壘内には大砲十数門が備えられていた。科学技術と築城術の粋を尽した恐るべき防備と戦力を有

する近代的要塞であり、一個の堡壘だけで敵一個師団に対抗しうる戦力を備えていたが、日本軍はその実体を何一つ知らなかったのである。

第三軍は要塞の中核である東北方面を強襲法を以て攻めた。要塞攻撃法は強襲法と時間をかけてじっくり攻める正攻法があったが、可及的速やかな攻略が求められたから前者がとられた。東北方面を強襲法によって攻めることは参謀本部も満洲軍総司令部も異議なく支持していた。



第三軍は八月十九、二十日の二日間、まず全力をあげて要塞を砲撃した。それまでの世界要塞戦史上最大量といわれる砲弾を注ぎこんだのである。砲撃により堡壘を破壊してから歩兵部隊の突撃が行われるのである。

遠目には土砂が舞上り堡壘が打ち砕かれたかに見えた三日目早朝、歩兵部隊が麓(ふもと)から駆け上り堡壘に突撃を繰り返した。しかし壕内に突入すると側壁の機関銃により次々に薙ぎ倒された。この仕掛けがわからなかったのだ。

多少の損害は覚悟の上、一度の総攻撃で旅順を陥落せしめることを求められている第三軍は猛攻を重ねた。しかし六日目砲弾が底をついた。砲兵の援護射撃なくして歩兵の突撃は不可能だから、やむなく乃木は総攻撃を中止したのである。五万人中一万六千もの死傷者を出す大敗であった。

兵力、砲弾の絶対的不足と劣弱及び想像を絶する旅順要塞の堅固さのため敗北せざるを得なかったのである。この失敗の原因が乃木及び軍司令部の無能、拙劣とする見方がいかに誤りがわかっていこう。

しかし敗北とは言え第三軍は二つの堡壘を奪取し、その構造がわかった。ニメートルの防壁を打ち砕く大砲はわが国の主要海岸に備えている二十八センチ砲しかなかった。また強襲法による攻略は犠牲が大きすぎるので、乃木の決断により正攻法に変えられた。正攻法とは堡壘の直前まで塹壕を掘り進め、攻撃距離を短くし犠牲をより少なくする戦法である。

塹壕工事にかなりの日時を費やし、十月、正攻法により第二回総攻撃を行った。強力な二十八センチ砲を四日間も撃ち続け、五日目に歩兵が突入したが、それでも旅順は落ちなかった。二十八センチ砲も歯が立たぬ世界無比の要塞であったのである。



明治天皇の後を追って殉死する最後の日の乃木大将
(乃木神社提供)

「乃木をかえてはならぬ」

しかし多くの国民は第三軍の戦力不足と旅順要塞の堅固さは知る由もないから、乃木と第三軍への批判を強めた。第一、第二、第四の各軍は連戦連勝していたから第三軍だけがもたついていると思ひ、乃木の手元には責任を取り辞職すべし、腹を切れとの二千四百通もの手紙が殺到するのである。

乃木への非難は軍内部にも高まり、やむなく山縣有朋参謀総長は乃木交代を決意し明治天皇にお伺いを立てた(任免権は天皇にあつた)。すると天皇は、

「乃木をかえたら乃木は生きておらぬぞ」

とただ一言仰せられた。山縣よ、乃木のような立派な人物は多くの部下を死なせた責任を取り必ず割腹自殺するぞ、乃木の如き二人とない良将を殺してよいのかという叱責にも似たお言葉であつたのである。山縣は恐縮して引き下がった。

この至難の戦いの主将に天皇が乃木をあてかつ交代させなかつたことは間違いではなかつた。いな神業であつたと言えよう。その人物鑑識眼は神の如くであつた。明治天皇は真に偉大であつた。「司馬史観」の信奉者はこれがまるでわからない。一番の戦下手、無能の人物と思ひこんでいるが、その正反対である。乃木は明治天皇の限りなき御信任に感泣感奮(かんきゅうかんぷん)し死力を尽して戦い続けるのである。



夫人の伊勢詣で

このとき明治天皇を別として軍内外の乃木非難に最も心を痛めたのは夫人の静子である。第三回総攻撃が始まる少し前の十一月十七日朝、夫人は二階の窓を開けると門前に立つ一将校から怒声を浴びせかけられた。

「乃木ののろめ、何をまごつているのか。我々が兵隊を作ってやれば端から殺してしまう。それで自分は武士であるとか侍だとか傲語しながら今に生存しているではないか。もし真の武士なら我々に申訳のために潔く切腹するがよい。もし腹を切るのが痛ければせめて辞職でもするのが当然だ。一体家族どもも何を愚図愚図しているかい。少しは考えて見るがよい」

聞くに耐え難い暴言に接した夫人は自室にうずくまり、一体どうすればよいのかと懊悩した。その日夕方、夫人は汽車に乗り東海道を下り翌朝宇治山田に着いた。頭から水を浴び身を清めたあと伊勢神宮に腕き一心に「神威を以て旅順を陥落させ給え」と祈願したのである。何十分間かたつと夫人の耳に涼しい声が確かに聞こえた。

「汝の願望は叶えてやるが、最愛の二子は取り上げるぞ」

旅順は落としてやるが二人の息子とともに軍人は戦死させるぞという声をきいて夫人はすぐさま、「二子のみではなく私共夫婦の生命も差し上げます。どうぞ旅順だけは取らせて下さいませ」と哀願した。

長男の勝典中尉は南山の戦いで亡くなっていた。次男の保典少尉はこのあと二〇三高地で戦死する。子供はこの二人だけである。乃木と親しかった寺内正毅陸相が自ら乃木邸を訪れ保典の死を伝え夫人を慰めんとしたとき、夫人は

「よく死んでくれました。これで世間の母人方に申訳が立ちます」

と毅然として答えた。寺内は言葉を失った。

一方、乃木は部下から報告を受けたとき、

「よく戦死してくれた。これで世間に申訳が立つ。よく死んでくれた」

と言った。



左が長男・乃木勝典少尉、右は次男・乃木保典少尉
(乃木神社提供)

ああ爾靈山一乃木と児玉

十一月二十六日、第三回総攻撃が開始された。目標は前回同様、東北方面の主要堡壘である。これを取れば旅順要塞は陥落する。それゆえ第三軍はここを攻め続けた。しかしロシア軍の抗戦は相変わらず頑強だった。

そこで同日夜決行されたのが白樺隊と呼ばれた三千名の決死隊による夜襲であった。攻撃は激烈を極めたが約二千人の死傷者を出して敗れた。司馬氏は例によってこれを愚の骨頂として痛罵した。しかし敵軍に与えた心理的打撃は大きく、日本軍の恐るべき闘魂に彼らは精神的屈服の感を抱いたのであった。

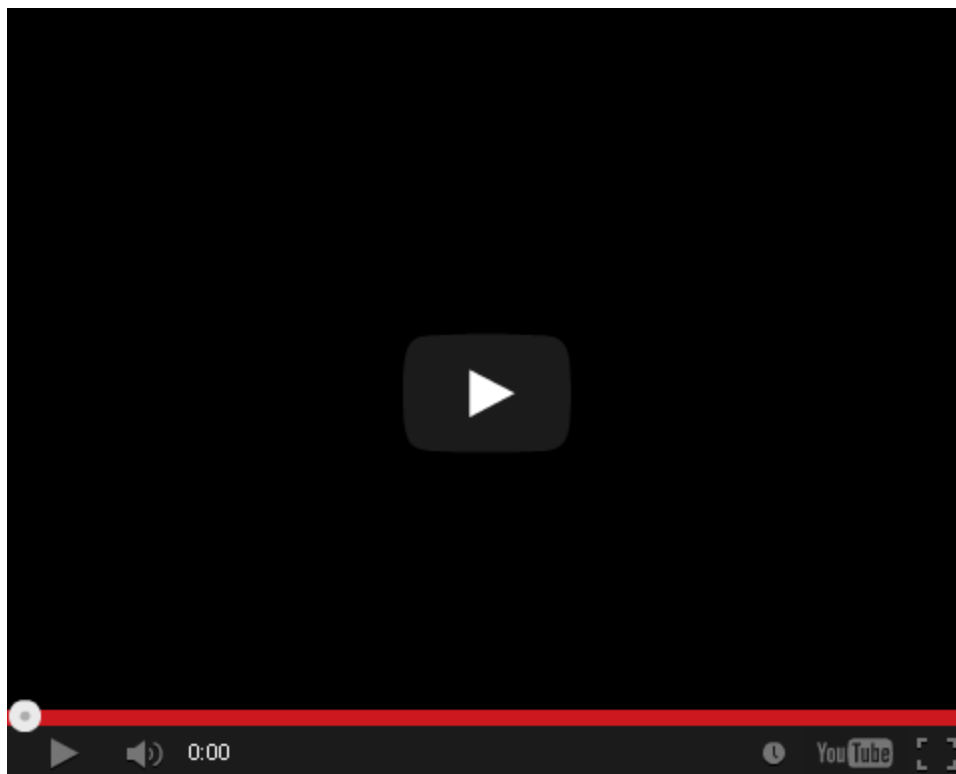
翌二十七日から行われたのが二〇三高地の戦いである。二〇三高地は要塞西北側に突出した二〇三メートルの陣地である。

海軍は旅順港内に閉じこもって出てこない敵艦隊を全滅するため、第三軍に二〇三高地の占領をかねて要請していた。バルチック艦隊の来航が迫り海軍はそれを催促してやまず、ここに二〇三高地の戦いが始まった。

四日間激しい攻防を繰返したが多大の犠牲を払って三十日、二〇三高地を占領した。だが同日、奪い還された。

十二月一日、満洲軍総参謀長児玉源太郎がやってきた。『坂の上の雲』の見せ場の一つで、司馬氏は無能、拙劣な乃木に代って才腕比類なき名将児玉の指導により二〇三高地は占領できたと描くのである。しかしそれは大間違いである。

児玉が旅順にきた本当の理由は、旅順戦苦戦の真の責任が自分にあると思ったからである。児玉は旅順を軽視し入念な準備を怠り、わずかな戦力しか与えなかった参謀本部の責任を深く痛感していた。それゆえ旅順陥落が成功しなかったならば生きて帰らぬ覚悟を以て、遺書まで書いて出てきたのである。自分に最も責任があると思えばこそ遺書を書いたのである。



乃木と児玉は同じ長州出身者として、「貴様、俺」の親友同士であり遠慮なく何でも言い合える仲で感情の行き違いはなかった。児玉は二、三の指導をした。四日まで戦闘なく十二月五日攻撃が再開された。新たに投入された第七師団は残り少ない兵力を以て死力をふり絞りついにロシア軍を撃退、二〇三高地を確実に占領した。

攻撃再開後一日で奪還しえたのは、十一月末の前半戦において敵に与えた打撃が極めて大きかったからである。つまり児玉のおかげで二〇三高地が落ちたわけではなかった。児玉の指導の効果は勝敗を決するほどのものではなく、二〇三高地の奪取は第三軍将兵の死闘の賜物であったのである。このとき乃木は次の漢詩を作った。

爾靈山の嶮巖攀じ難からんや
男子功名克艱を期す
鉄血山を覆い山形改まる
萬人齊しく仰ぐ爾靈山

戦前の日本人によく知られていた乃木の代表的漢詩である。鉄と血を注ぎこみ山の形まで変り果てたこの難戦において、乃木は無数の将兵を失った。愛児保典もここでなくした。爾靈山二〇三高地を落としたのは児玉ではなく、乃木及び第三軍将兵の不屈の闘魂であった。(後略、歴史通5月号P72-P76)

全面制裁、国際連携で 拉致被害者救出を！

平成22年4月25日(日)

午後2時～5時 日比谷公会堂

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(38)

タグ: [歴史通](#) [ワック出版](#) [日露戦争](#) [乃木希典](#) [静子夫人](#) [明治天皇](#) [旅順後略戦](#) [児玉源太郎](#) [乃木神社](#) [司馬遼太郎](#)
[坂の上の雲](#) [渡部昇一](#) [岡田幹彦](#) [田母神俊雄](#)

コメント(38)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **mapleさん**

2010/04/15 09:29

はじめまして、いつもこのブログを拝見させてもらっています。

私の祖父の叔父がこの二〇三高地で片腕を落としています。その方の写真が実家があり、一時帰国中に探したのですが、どこに仕舞ったのか結局見つけだすことができませんでした。

私は祖父にとってもかわいがられていたのですが、祖父もその叔父に弟分のようにかわいがられていたようです。父親にも話を聞く機会があったのですが、子供のころその方に腕の取れた部分を無理やり触らされ、その部分を動かすものだから気持ち悪かったと、思いついで語っていました。

このような先人達の苦難があつてこそ、今の我々があるということに感謝しなければなりませんね。

ついコメントをしたくなり、個人的なとりとめもないことを書いてしまい失礼しました。



Commented by **猫のひげさん**

2010/04/15 10:22

maple様

個人の経験、考えなどが集まって家族や国民としての方向性の流れがえきるのですし、ブログ主様も歓迎されるのではないのでしょうか。

乃木大将については司馬氏によってマイナスイメージが作られましたが、歴史を検討していく中で、時には回り道をすることはあっても、結局真実が見えてくるものと考えます。ワシ自身は、乃木大将の真価を理解しているつもりです。赤坂の乃木神社、落ち着いていいですよ。

maple様は、お名前から察するにカナダからですか？



Commented by **猫のひげさん**

2010/04/15 10:24

訂正です。

流れがえきる → 流れができる

失礼しました。



Commented by **花うさぎさん**

2010/04/15 12:05

To mapleさん こんにちは、はじめまして。

>はじめまして、いつもこのブログを拝見させてもらっています。

2010/04/15 12:07

それはありがとうございます。

>一時帰国中に探したのですが、どこに仕舞ったのか結局見つけだすことができませんでした。

それは残念でしたね。大切な写真ですからきっと見つかると思います。

>その部分を動かすものだから気持ち悪かったと、思い出を語っていました。

そういう印象って忘れないのですね。

>このような先人達の苦難があつてこそ、今の我々があるということに感謝しなければなりませんね。

まったくもってその通りです。残念ながら今の日本も日本人も、あまりにも「戦う」ということを恐れるようになってしまいました。ですから「日本が危ない」のです。

>個人的なとりとめもないことを書いてしまい失礼しました。

とんでもないです。コメントありがとうございました。いつでも気軽に書き込んで下さい。



Commented by **花うさぎさん**
To 猫のひげさん こんにちは。

2010/04/15 12:12

>ワシ自身は、乃木大将の真価を理解しているつもりです。赤坂の乃木神社、落ち着いていいですよ。

いいですね。しかし「乃木神社」って全国に七カ所もあるとは知りませんでした。やはり凄い人気だったのでしょうか。



Commented by **花うさぎさん**
・ニュース

2010/04/15 12:14

民主党がネット選挙解禁法案を提出方針 今夏の参院選から適用へ

民主党は14日、インターネットを利用した選挙運動を今年夏の参院選から解禁するため、公職選挙法改正案(ネット選挙解禁法案)を5月の大型連休明けに議員立法として国会提出する方針を固めた。

自民党も同日、従来の慎重姿勢を転換し、同党選挙制度調査会が独自のネット選挙解禁法案の要綱をまとめており、今夏の参院選でネット選挙が解禁される方向となった。

選挙期間中のホームページ(HP)やブログ、ツイッターの更新が可能となり、選挙戦は大きく様変わりする。(後略)

<http://sankei.jp.msn.com/politics/situation/100415/stt1004150125002-n1.htm>

・本日の朝刊一面トップ記事です。民主党の出す法案ではじめて賛成できます。さあ、我々もお役に立てそうな気配となってきましたよ。



Commented by **花うさぎさん**
・イベントガイド 子供手当て再審議要求デモ

期日 平成22年4月18日(日)

内容

13時30分 デモ集合 明治公園/四季の庭(競技場の西側)

JR「千駄ヶ谷」下車 徒歩3分

地下鉄大江戸線「国立競技場」(E25)下車 徒歩2分

<http://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index086.html>

14時00分 デモ出発 明治公園/四季の庭

15時00分 神宮通り公園流れ解散(～15時30分)

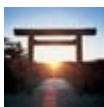


Commented by **tom-h** さん

2010/04/15 13:08

司馬史観が信用ならぬというのは、よく言われますがNHKの「坂の上の雲」はただでさえ捏造ものの作品に更に原作にないものを加えてまで捏造しているって聞いたんですけど本当なのでしょうか?あるとしたら具体的にどんな捏造なのでしょうかね。

ま、NHKの事ですからあり得そうだと思いますが。



Commented by **☆ たちあがれ日本 ☆** さん

2010/04/15 13:32

こんにちは

お時間が空いた折にでも

僕の4月8日のブログ

『昭憲皇后が龍馬の夢を見たというのは、事実なのである』

<http://web39.iza.ne.jp/blog/entry/1539028/>

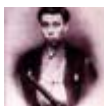
をご覧ください。

司馬史観が信用ならないという事が、よく解かりました。

鏡川伊一郎先生のファンになりました。

それから昭憲皇后と花うさぎさんに共通点があります。

御二方には「凜」という言葉が相応しいです。。。^^



Commented by **しばりよう** さん

2010/04/15 13:46

花うさぎ様

私は、司馬さんの 坂の上の雲で、乃木大将のイメージが、出来上がってしまい、花うさぎ様によって、乃木将軍が、素晴らしい日本人であったと、再認識しました。

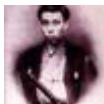
司馬さんの坂の上の雲と NHKの坂の上の雲は別物です。

NHKの 坂の上の雲は、その後の日本が、1部 軍部の暴走により、敗戦を招いたと、結論づけたいのでしょう。

龍馬伝も、司馬さんの 龍馬がゆくとは、全然別物です。

司馬さの意図を曲げるようなら、続編は中止すべきでしょう。

母は、靖国の歌を 今でも 歌ってくれます。



Commented by **しばりよう** さん

2010/04/15 13:59

追伸

司馬氏は歴史学者ではありません。しかし、膨大な資料をもとに、小説を書かれています。その中に 私的な嗜好が入るのは仕方ないことです。

今のように、大東亜戦争の資料が、あれば、また、違って見方もできたでしょう。司馬さんは、昭和の小説は1冊も書いていません。

あいまいな資料で、小説は書けなかったのでしょう。

司馬史観を超える、坂の上の雲 その後を 描く作家の登場が待たれますね。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/04/15 14:04

To tom-hさん こんにちは。

>あるとしたら具体的にどんな捏造なのでしょうかね。

色々あるようですが、この人の意見も参考になるかも知れません。

<http://syuun.way-nifty.com/blog/2010/01/nhk5-c9b9-1.html>

2010/04/15 14:13



Commented by **しばりようさん**

To 花うさぎさん
>To tom-hさん こんにちは。
>

>>あるとしたら具体的にどんな捏造なんでしょうかね。

正岡子規が新聞記者として、[中国](#)へわたった場面で、日本兵が、いかにも、中国人を恫喝して、中国人が怖がる場面がありました。原作にはありません。NHK日本が嫌い史観そのものです。

NHKの創作です。捏造といってもいいでしょうね。



Commented by **花うさぎさん**

To 岳要(がくよう)さん こんにちは。

2010/04/15 14:14

>『昭憲皇后が龍馬の夢を見たというのは、事実なのである』

シリーズ2まで拝見しました。随分と詳しく分析されていますね。あとでゆっくりと拝見します。

>御二方には「凜」という言葉が相応しいです。。^^

それは畏れ多いこと、当方61才のおっさんですから(^_^;)。



Commented by **花うさぎさん**

To しばりようさん こんにちは。

2010/04/15 14:24

>膨大な資料をもとに、小説を書かれています。その中に 私的な嗜好が入るのは仕方ないことです。

はい、それは理解できます。ただでさえ、戦後の自虐史観教育で日本の栄光の歴史が教えられなかったところに、国民的大作家が乃木**大将**をこのように評価したので影響は大きかったですね。

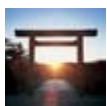
まあ、西村慎吾氏はこの「白樺隊」の話を度々するので、かなり有名になりました。

>あいまいな資料で、小説は書けなかったのでしょう。

戦後60年以上が経過して、これまで封印されてきた極秘資料が次々と解禁となり、これまでの常識をひっくり返す事実が出てきました。今思うと、正解かも知れません。

>司馬史観を超える、坂の上の雲 その後を 描く作家の登場が待たれますね。

だれか書いてくれませんか？



Commented by **☆ たちあがれ日本 ☆さん**

しばりようさん、

2010/04/15 15:35

こんにちは

龍馬伝はNHKのオリジナル作品との事です。

『新選組!』以来6年振りのオリジナル作品

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%BE%8D%E9%A6%AC%E4%BC%9D>

また、司馬遼太郎氏は『竜馬がゆく』は小説なので龍ではなく竜の字に

したと何処かで聴きました。ソースは知りませんが。。。



Commented by ☆ たちあがれ日本 ☆さん
花うさぎさん

2010/04/15 15:38

> それは畏れ多いこと、当方61才のおっさんですから(^^);

御名前から女性だとばかり思い込んでいました。^^;



Commented by しばりようさん
To 岳要(がくよう)さん

2010/04/15 16:03

> こんにちは

>

> 龍馬伝はNHKのオリジナル作品との事です。

> また、司馬遼太郎氏は『竜馬がゆく』は小説なので龍ではなく竜の字に

>

> したと何処かで聴きました。ソースは知りませんが。。。

そうですか。そもそも、「竜馬がゆく」には 岩崎弥太郎は、出てきた記憶がないのです。
幼なじみの 広末演じる 加保も、記憶にないです。

花うさぎ様のこと 実は ある時まで、女性だと思っていましたよ。

日本大好き お酒大好きな、行動派の 素晴らしい60代のお兄さんです。



Commented by heiwaさん
こんにちは。

2010/04/15 16:37

「坂の上の雲」はるか昔食べるように読んだものです。
(今NHKドラマは一切見ませんが)

過っては、文中にある「司馬史観」なる幻想下、私も乃木愚将論に組する一人でした・・・
時代は大分過ぎ、日・露、両軍事専門家による乃木論を読んでも、どうも違うんじゃないかと思うようになりました。(「日本海海戦と明治人の気概」05'産経:論文・柿元勲夫
(元防衛大教授軍事評論家)「203高地はなぜ必要だったか」等)

司馬さんは左翼偏重の時代が名づけた「司馬史観」(NHKが好んで使用)により、一歴史
小説家がある時を境に文明史家のごとく振舞われ、小説家としての自由な発想が却って
蝕まれたのではと残念です。

司馬さんの日本論は一言で言えば、「明治の日本人は素晴らしかったけど昭和終戦までは
愚」。

日本ではなく「この国」と客観的表現に終始することが多かった・・・ご自分は明治までの範
疇にいる日本人だったんでしょうか。

晩年は「ノモンハン」を書く膨大な資料を収集しておられる様子が映じられて読者は待つて
いたと思います。

—— 結局書かずに逝かれ、私はずっとそれが謎でした。

でもある時から、[ロシア](#)側資料をきちんと読まれた、だからこそ書けなくなったのだと思
い至りました・・・丁度ソ連が崩壊しロシア側から「[ノモンハン事件](#)」関連の資料も多く流出し
ており詳読されてははずだからです。 戦後民主主義史観に多分に利用された「司馬史観」
なるものと齟齬を生じる資料を沢山目にされたのではと思っています。



Commented by 花うさぎさん
To 岳要(がくよう)さん

2010/04/15 17:12

> 御名前から女性だとばかり思い込んでいました。^^;

すいません、このHNからすると、そう思われても仕方がないですね(--).

Commented by 花うさぎさん

2010/04/15 17:13



To [しばりょうさん](#)

2010/04/15 17:21

>花うさぎ様のこと 実は ある時まで、女性だと思っていましたよ。

やっぱり。

>日本大好き お酒大好きな、行動派の 素晴らしい60代のお兄さんです。

いや、実は孫が既に五人いるのです(^^;)。



Commented by [花うさぎさん](#)

To [heiwaさん](#) こんにちは。

>一歴史小説家がある時を境に文明史家のごとく振舞われ、小説家としての自由な発想が却って蝕まれたのではと残念です。

ああ～、なるほどです。

>司馬さんの日本論は一言で言えば、「明治の日本人は素晴らしかったけど昭和終戦までは愚」。

実に分かりやすいですね。でも、良く読むと小村寿太郎が締結したポーツマス条約に不満をもった国民が日比谷焼き討ち事件を起こすわけですが、ここから日本人はおごり高ぶり墮落していった、みたいなニュアンスを受けますね。

>戦後民主主義史観に多分に利用された「司馬史観」なるものと齟齬を生じる資料を沢山目にされたのではと思っています。

そうかも知れません。でも、司馬遼太郎が日本を代表する作家という評価は全く揺るがないと思いますよ。親日[台湾人](#)にとっても「街道を行く・[台湾紀行](#)」などは熱狂的に歓迎されましたし(^^)。



Commented by [しばりょうさん](#)

2010/04/15 18:05

司馬さんの大ファンとして、ひとこと、司馬さんの小説は、評論のぞいて、すべて読んでいます。評論はどうも、苦手でした。

小説は、時間をわすれて、引き込まれていきます。

ほとんどが、躍動する日本人を描いたものです。

唯一 異色なのが、乃木大将を描いた「殉死」です。

内容も 陰湿で、あまり読後感のよくない小説でした。

乃木大将が嫌いなのではなく、その後の暴走したと言われる

日本陸軍を批判したかったのかなあと思います。

司馬さんも、万能ではないですね。

これ以外は、本当に 日本 そして、[モンゴル](#) 台湾の好きな人でした。[竜馬](#)が行く 坂之上の雲が なかったら、坂本竜馬も、秋山兄弟も、こんなに注目されなかったでしょうし、坂之上の雲が、存在しなかったら、自虐史観が、明治、幕末まで、及んでいたのではないかと、ぞーとします。



Commented by [花うさぎさん](#)

2010/04/15 18:26

To [しばりょうさん](#)

>小説は、時間をわすれて、引き込まれていきます。

>ほとんどが、躍動する日本人を描いたものです。

はい、だから国民的作家となったと思います。

>日本陸軍を批判したかったのかなあと思います。

はるほど。

>坂之上の雲が、存在しなかったら、自虐史観が、明治、幕末まで、及んでいたのではな

いかと、ぞーとします。

2010/04/15 19:28

それだけに今回のNHKのやり方は頭にきますね。原作にないシーンまで勝手につくって「日本悪者史観」を拡散しようとしています。ある程度予想はしていたけど、これは原作の捏造とも云える行為で、遺族の方は対抗手段を取るべきですね。

そうでないと、原作を読んでいない視聴者は、これが司馬遼太郎の描いた世界か、と誤ってしまいますよ。日曜日に再びジャパンデビュー「日韓100年」が始まるらしいですが、もう見たくもないですよ。



Commented by [しばりようさん](#)

To [花うさぎさん](#)

>それだけに今回のNHKのやり方は頭にきますね。原作にないシーンまで勝手につくって「日本悪者史観」を拡散しようとしています。ある程度予想はしていたけど、これは原作の捏造とも云える行為で、遺族の方は対抗手段を取るべきですね。

>

>そうでないと、原作を読んでいない視聴者は、これが司馬遼太郎の描いた世界か、と誤ってしまいますよ。日曜日に再びジャパンデビュー「日韓100年」が始まるらしいですが、もう見たくもないですよ。

本当に NHKは酷いですね、[民主党](#)と同じ旧社会党の残党が、番組作っているのではないのでしょうか。

NHKの報道は正しいと思っている年配者が多いので、なおさら

影響大ですね。

ジャパンデビューと同じ構図ですね。

NHK解体ですね。



Commented by [花うさぎさん](#)

To [しばりようさん](#)

2010/04/15 20:06

>本当に NHKは酷いですね、[民主党](#)と同じ旧社会党の残党が、番組作っているのではないのでしょうか。

日放労という左翼が牛耳っている、基本は朝日と同じです。但し、半ば強制的に[受信料](#)を徴収しているのですから、朝日以上に悪質です。

>ジャパンデビューと同じ構図ですね。

>NHK解体ですね。

本当ですよ。それこそ[石原慎太郎](#)が乗り込んで左翼を一掃して欲しいです。



Commented by [kenzo1348さん](#)

To [花うさぎさん](#)

2010/04/15 21:36

こんばんは。

今日、久しぶりに半日自虐史観[中国中央電視台](#)日本支局NHKの夜7時のニュースを見ました。

[アメリカ](#)で急速に広がっている半オバマ運動「[Tea Party](#)」に関するものです。

TeaPartyのTEAはTaxed Enough Alreadyの頭文字からなる[ショートカット](#)で、つまりもう十分税金は払っているのにオバマはその税金をいったい何に使おうとするのかという、白人を中心にした草の根の運動で、その主論点は:

- [医療保険](#)改革法案等の社会主義的政策
- 移民の増大(白人の居場所がなくなる)
- 税金の使い方が間違っている(弱者に配りすぎ、アメリカの保守派は「どんなに苦しくても自分の力で人生を切り開くべき」と主張)

これって、[医療保険](#)改革を子供手当で、白人を日本人、移民をシナ人に置き換えればそっくりそのまま今の日本に当て嵌まるんだけど。あつははは。

2010/04/15 21:47

さて我がポッポ首相は、そのオバマが大統領のアメリカのマスコミに「バカが専用機でやって来た」、「最大の敗者は迷走続きの鳩山由紀夫首相」と酷評され、それに対して平野官房長官は「一国の首相に対して非礼ではないか」って、また世界中に恥の上塗りしております。

今、民主党閣僚が早急にやらなければならない事:ハトを精神病院に強制入院させ、その後大嫌いな靖国神社に集まって切腹しなさい。



Commented by **しばりよう** さん

To 花うさぎさん

>本当ですよ。それこそ石原慎太郎が乗り込んで左翼を一掃して欲しいです。

NHKはまたやりますか。日韓併合100年 いつまで、こんな番組作り続けるのでしょうか。

終戦記念日には、大東亜戦争は悪かったと言ひ。日韓併合では、日本人は悪かったと言ひ、日本人から、誇りと自信をなくする、中国国営放送と同じですね。

どこの国にいつまでも、自国は悪かったという国があるのでしょうか。教えて欲しいくらいです。

民主党 = 日教組 = 連合 = 朝日 = NHK 日本が嫌い史観ええかげんにせよですね。



Commented by **20a5911** さん

<「ジェンダーフリー」や過激な性教育への歯止め削除 男女共同参画中間案、福島氏の意向色濃く >

MSN産経ニュース 2010.4.15 20:53

政府の男女共同参画会議の基本問題・計画専門調査会(会長・羽入佐和子お茶の水女子大学長)は15日、平成23年度から5年間の男女共同参画基本計画策定に向けて中間整理案を公表した。性差否定の温床となった「ジェンダーフリー」や過激な性教育への歯止めをかけた現行規定を削除したほか、公的機関などの一定比率を女性とするよう割り当てる「クオータ制」の検討を初めて明記するなど、福島瑞穂男女共同参画担当相の意向を踏まえた急進的な内容となった。

現行計画では「ジェンダーフリー」という用語を利用して男女の性差や男らしさ、女らしさを否定する動きについて、「国民が求める男女共同参画社会とは異なる」と指摘。発達段階を踏まえられない行き過ぎた性教育についても自制を求めているが、中間整理案ではこれらの表現は削除された。

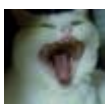
<http://sankei.jp.msn.com/politics/policy/100415/plc1004152054010-n1.htm>

やるだろうとは思ってましたが、つくづくイカれた政権です。

誰かは忘れましたが、「ジェンダーフリーとは女性を無理やり男性化することだ」と言っていた人がいました。男女が平等というのは異論はありませんが、男女それぞれの性には各々一方にしかできないことが必ずあって、そういった意味の上での性差を軽んじてほしくありません。

男女が同じ行動をとっても、社会にもたらす影響はまるで違ってくるが多々あります。伝統的な「男らしさ」、「女らしさ」というものには、そういったことを踏まえて、「社会の安定のために、男女はどういう行動をとって生きるべきか」と先人達が考えた知恵がいっぱい詰まっているのだと思います。

過激な性教育については完全に犯罪ですね。法律で取り締まってほしいと思います。ねずきさんの日心会が禁止する法律を作るために活動すると言ってたけれど、どうなったんだろ？



Commented by **kenzo1348** さん

おはようございます。

深夜にアップされたYoutube動画で、鳩山いわく「日米同盟を持続的に撤回する」だそうです。目を瞑って聞けば「展開」とも聞こえないこともないが、やはりいつも心で思っていたことが思わず口から出たのでしょう。

2010/04/15 22:54

2010/04/16 05:08

2010/04/16 08:00

<http://www.youtube.com/watch?v=3dIGfvLs1dw>



Commented by **abusan123** さん

乃木希典の逸話は涙無しで語れませんね。
特に明治大帝の乃木に対する扱いは「仁」そのものでして。

乃木希典を好意的に見るか批判的にみるかで
コンサバティブ(右派)かりベラル(左派)に
分かれると思います。

尤も大江健三郎の類の如きが乃木を評するなんぞ笑止千万!
な話ですがね(一__一メ)愛国心の無い者が乃木を語る
資格が有る筈も無し。



Commented by **花うさぎ** さん

To kenzo1348さん おはようございます。

2010/04/16 08:56

>これって、医療保険改革を子供手当、白人を日本人、移民をシナ人に置き換えれば
そっくりそのまま今の日本に当て嵌まるんだけど。あつははは。

ああ~なるほど、本当にそうですね。

>今、民主党閣僚が早急にやらなければならない事:ハトを精神病院に強制入院させ、そ
の後大嫌いな靖国神社に集まって切腹しなさい。

無駄だと思いますよ。「切腹って、痛いじゃないか」程度のレベルでしょう。これだけに議員
があつまって「正論」を語る勇気のある人間が一人もいないとは、人間の器がよ~~~~
く判りました。弱虫ばかりですね、全員、議員辞職しろ!といたい。



Commented by **花うさぎ** さん

To しばりょうさん おはようございます。

2010/04/16 08:58

>どこの国にいつまでも、自国は悪かったとうい国があるのでしょうか。教えて欲しいくら
いです。

日本以外はないでしょうね。

>民主党=日教組=連合=朝日=NHK 日本が嫌い史観ええかげんにせよですね。

いつからこんな情けない日本になってしまったのでしょうか？。



Commented by **花うさぎ** さん

To 20a5911さん おはようございます。

2010/04/16 09:04

情報感謝です。

>福島瑞穂男女共同参画担当相の意向を踏まえた急進的な内容となった。

うわ~最悪ですね。

>過激な性教育については完全に犯罪ですね。法律で取り締まってほしいと思います。

御意!。2%しかない日本の婚外子比率を早くヨーロッパ並みの30-50%にしなければ、
という狂った女が小子化担当大臣って、目眩がしますよ。

>ねずきさんの日心会が禁止する法律を作るために活動すると言ってたけれど、どうな
ったんだろ?

あつ、そんな話があったのですか?。本当にやって欲しいですよ。

Commented by **花うさぎ** さん

2010/04/16 09:07



To kenzo1348さん

2010/04/16 09:10

>鳩山いわく「日米同盟を持続的に撤回する」だそうです。目を瞑って聞けば「展開」とも聞こえないこともないが、やはりいつも心で思っていたことが思わず口から出たのでしょう。

撤回と展開ではえらい違いですね。乃木**大将**を見習って、と思ったけどあり得ないですね、この最低の男には(^_^;)。



Commented by **花うさぎさん**

To abusanさん おはようございます。

>乃木希典の逸話は涙無しで語れませんね。
>特に明治大帝の乃木に対する扱いは「仁」そのものでして。

凄いですよね。

>コンサバティブ(右派)かりベラル(左派)に
>分けられると思います。

ああ～、なるほど、分かりやすいですね。

>尤も**大江健三郎**の類の如きが乃木を評するなんぞ笑止千万！
>な話しですがね(一一一メ)

この男も作家と称してますが卑怯者ですね。左翼＝卑怯者といって間違いないでしょう。



Commented by **kappaebiさん**

2010/04/16 16:46

子供の頃、神社などに軍服を着た石像がたっていました。
石像であれば戦前まではかなり建ってたんじゃないでしょうか、

司馬史観になってしまいますが、戦争する能力はなかったけれども、人格として立派だったとゆう事ではないでしょうか。

日本人は彼のような据え置き方のリーダーが好きですし、
大山巖もそのタイプですし、まあ正確は全く違いますが、

私が残念に思うのは、軍隊とゆう一番の能力主義である組織が年功序列主義であったこと、「武士道」を重んじるあまり、情報戦をほとんど軽視していた事、です。
これは、大東亜戦争の時の南雲に現れています。畑違いの人間に虎の子の航空艦隊をまかせ、殲滅されても責任を問わず、復職させているし、
日本の負け時も、**硫黄島**や沖縄戦のとき米で和平を望む声が大きかったと聞きます。

現代でも**竹島問題**ふくめ、情報戦なんて米に丸投げしてますよね。
外務省もほとんど文化交流機関だし、



Commented by **花うさぎさん**

2010/04/16 17:37

To kappaebiさん こんにちは。

>石像であれば戦前まではかなり建ってたんじゃないでしょうか、

私は戦前はわかりませんが、恐らく偉人の像は多かったでしょうね。

>情報戦をほとんど軽視していた事、です。

これは情報の重要性をトップが軽視していたのでしょう。今でも云えることですが。

>日本の負け時も、**硫黄島**や沖縄戦のとき米で和平を望む声が大きかったと聞きます。

ifは今更ですが、それが実現できていれば、思います。

>現代でも竹島問題ふくめ、情報戦なんて米に丸投げしてますよね。

>外務省もほとんど文化交流機関だし、

既に官僚の中に左翼が住み着いているのですから、これらの掃除から始めないといけません。